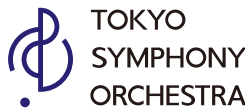




シンフォニープラン スタート 記念特別対談



Jonathan Nott, Music Director



大野 順二

公益財団法人東京交響楽団
専務理事 楽団長

西山 大輔

丸紅新電力株式会社
代表取締役社長

日本ならではの発電、 日本ならではの音楽ブランド発信を目指す

丸紅新電力の新しい電力プラン「シンフォニープラン」は、お支払いいただいた電気料金から毎月100円を「応援金」として公益財団法人東京交響楽団に還元し、活動を支援します。プランスタートを記念し、東京交響楽団の大野順二楽団長と、丸紅新電力の西山大輔社長による対談が行われました。

価値ある「本物」を残したい

西山: 人生100年時代に向けて、心の癒しが大切になり、音楽の果たす役割はますます大きくなると思います。例えば発表会で子どもが一人で舞台上立って人前で演奏する、これは人生の中でかなり重たい、いい経験だと思います。

プロフェッショナルとして成功されてきた演奏家の皆さんの半生、人生体験にとっても興味を感じます。一般の方にも音楽家を目指す方にも興味深いと思いますのでご紹介させていただくような企画もしてみたいと考えています。

大野: 確かにオーケストラのメンバーは一人一人個性があり面白いです。

西山: 少子高齢化の中で、子供たちが目指すものになりたいものが限定的になってしまうのが気になります。万国共通の分野でプロを目指す、その中でメンタリティが形成されていくというのがこれからもっと大事になっていくと思

います。ビジネスマンも、何ができるか、そのプロジェクトにどのように寄与できるかが問われる時代です。パターンをなぞるのではなく「おれはこうだ」という人間力が問われます。感性や独立心を育て、人生に安定的な力強さをもたらず音楽のバリューは高いと感じています。

大野: 感性が大切だと思います。こういう仕事をしていますと鳥肌が立つほど感動したり、泣きたくなるような瞬間も経験します。そういう演奏に出会った時はうれしいですね。

西山: CDの売上なども低迷している中、唯一伸びているのはライブだそうです。演奏会場では演奏家と聞き手双方の意識で場が形成され、共有できるのが素晴らしいと思います。カーネギーホールで経験した観客が総立ちで「ブラボー」と叫ぶ本気さ、そのライブ感がこの国に必要ではないでしょうか。デジタル化が進むとかえって人とのつながりに価値が出てくる瞬間があります。今がまさにその瞬間だと感じています。

再生可能エネルギーへの信頼を文化に根付かせる力に

心の健康を追求する時代

大野:お話を伺っていると勇気をもらえますね。200年、300年と続いてきたオーケストラが、すたれてしまうのではと危惧する時もあります。

西山:音楽の力は不滅です。例えば、心の健康にも大きな影響を及ぼすと思います。精神科医の方から心と体の健康の中で、心の比率が高くなっていると聞きました。ライブ演奏の素晴らしさをもっと気軽に楽しめるような、心の癒しや人との触れ合いができる場所を創っていかないと日本の元気がなくなってしまう。そのためにも東京交響楽団様の活動にこれまでと違う方向からライトを当てる試みをできればと思います。

大野:音楽会を聞きに行くのは疲れた心の回復に最適ですし、心の成長や感性を磨くためにも重要です。子どもにハイレベルな音楽を聴かせることもとても大事なので、「子ども定期演奏会」を開催しています。教育というより感性を伸ばしたいという目的です。

西山:右脳のものを育てるには本物に触れ、体験させることが大事だと聞きました。最近は青年会議所、商工会議所との接点が広がり、地域経済について、地域教育の在り方についてなど問いを投げかけられる機会があります。そこから丸紅新電力の姿勢に共感いただいて、販売代理店として丸紅新電力の普及をお手伝いいただくことも増えています。

大野:共感を得られるのは再生可能エネルギーを使っているからでしょうね。

西山:一つはそうだと思います。さらに分散電源の時代を迎え、これからの3年間くらいで大型発電所に頼らない体制へと変わってきます。火力発電を最低限にとどめることを目指し、日本ならではの発電パターンを構築してければよいと思います。音楽もこの国ならではのブランドで再発信していくことができればよいなと考えています。立ち上がりは応援ですが、その成果を踏まえながら一緒に発信する企画を丁寧に考えていきたいと思っています。

大野:応援していただいたことを見える形として残していきたいので、応援金は楽器購入の一部に充てるなど、よりハイクオリティな高い音楽を追求していきたいと思っています。

西山:この国に本当の文化を根付かせるためにぜひお手伝いさせてください。今日はありがとうございました。



シンフォニープランのご紹介

お支払いいただいた電気料金の一部を「応援金」として公益財団法人東京交響楽団に還元し、活動を支援します。

■ 応援金の用途

・演奏活動の支援 ・楽器購入資金の一部として

シンフォニープランのしくみ

東京交響楽団
TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

毎月の電気料金から
応援金100円(税抜)

演奏活動の支援
楽器購入費の一部として



お客様

シンフォニープラン料金例



東京電力 従量電灯 B シンフォニープランS(従量電灯B)

※シミュレーションは、東京電力従量電灯Bと丸紅新電力のシンフォニープランS(従量電灯B)において計算・比較したものです。2016年4月以降に従来の各電力会社の契約から変更をしていない場合に適用のある電気需給約款(2018年4月1日時点)に基づく電気料金とマリンノス電気料金メニューの概算の差額です。

※燃料調整額については、2018年4月時点の額を考慮しています。再エネ賦課金については考慮されていません。また、各種割引も適用しておりません。お客様のライフスタイルの変化などによりご使用量が変動した場合、割引幅が縮小したり、現在の契約の方が安くなる場合があります。



丸紅新電力
MARUBENI POWER RETAIL

お申し込みはこちらから

<https://denki.marubeni.co.jp/culture/symphony>

丸紅新電力は東京交響楽団を応援しています。

Marubeni
Group